



澄みきった空、輝く太陽、広い海、緑の山々

この美しい山河に、わたしたちの先人は、自由民権の思想を開花させました。それは近代日本の「こころ」のふるさとでもあります。

わたしたちは、いま、この貴重な先人の遺産のうえに、さらに豊かで明るい市民生活をきずきあげるため、みんなで手をとって前進します。

ここに、わたしたち市民の自治と自律のさだめとして、この高知市民憲章を制定します。

- 一・ 鏡川を清潔なまろのシンボルにしましょう。
- 一・ 世界をむすぶ高い文化と教養のまちにしましょう。
- 一・ たがいに親切に、あたたかい社会をつくりましょう。
- 一・ 健康で働き、豊かなまちにしましょう。
- 一・ 交通ルールをまもり、事故のない安全なまちにしましょう。

〔昭和44年4月1日制定 高知市民憲章〕

## 市長あいさつ

高知市は、四国南部のほぼ中央に位置し、市の北方には急峻な四国山地があり、その支峰である北山に源を発する鏡川の下流域を中心に都市が形成されています。平成10年4月には四国で最初の中核市に移行するとともに、平成17年1月に鏡村・土佐山村、平成20年1月には春野町と合併し、中山間地域、田園地域、都市部のバランスの取れた人口約34万人の中核市となりました。

一方では、全国的な人口減少社会の到来による少子高齢化により、人々の日常生活を守っていくための社会保障の在り方や地域経済の活性化と雇用の促進、さらには新エネルギーの推進や南海トラフ地震対策など、将来にわたる課題への早急な対応が求められます。

# 高知市の概要

## CONTENTS

高知市民憲章	1
市長あいさつ	1-2
高知市のプロフィール	3
姉妹都市・友好都市	4
高知市総合計画	5-6
こうち子どもファンド	7
百歳体操	8
高知市今昔物語	9-10
高知市ゆかりの人々	11-12
土佐の歴史を辿る	13-14
高知の人	15-16
高知の食	17-18
高知の祭	19-20
高知の催	21-22
高知散歩	23-24
高知市のあゆみ	25-26



高知市長  
岡崎 誠也



このような中、高知市では平成23年度からの新たなまちづくりの羅針盤となる「2011高知市総合計画」を策定し、自由と創造の精神に満ちた新しい共生都市を築くことをめざし、「森・里・海と人の環」自由と創造の共生都市「高知」を将来の都市像として定め、にぎわいに満ちたたくましい未来の実現をめざしています。

この冊子は、こうした市勢の概要を中心に、観光情報なども併せてご紹介しておりますので、高知市をご理解いただくと参考にしていただければ幸いです。